

再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>ほんごうちりゅう</small> 本郷知立線					
事業箇所	愛知県知立市内 <small>ちりゅうしうちさいわいちょうひらた</small> 幸町平田					
事業のあらまし	<p>(都)本郷知立線は、知立市の(都)知立環状線を起点とし、安城市を経て、岡崎市の(都)豊田西尾線までを結ぶ道路である。</p> <p>このうち当該事業区間では、現道である県道安城八ツ田知立線と名古屋鉄道三河線（豊田方）との踏切交差部が連続立体交差事業の鉄道高架取付区間であり、現況よりも軌道高が大幅に高くなるため、現踏切部での通行ができなくなる。また、現道は幅員が狭く歩道もほとんど設置されておらず、歩行者及び自転車の安全確保が求められている。</p> <p>このため、「代替機能の確保」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、連続立体交差事業とあわせて鉄道交差道路となるバイパス整備を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 代替機能の確保</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2011)	再評価時 (1回目) (2016)	再評価時 (2回目) (2021)	変動要因の分析	
	事業期間	2012～2023	2012～2023	2012～2028	知立駅付近連続立体交差事業の期間延長に伴う延伸	
	事業費（億円）	14.8	14.8	14.8	—	
	経費内訳	工事費	1.5	3.5	2.9	事業の進捗に伴う経費の時点修正
		用補費	12.8	10.7	11.3	事業の進捗に伴う経費の時点修正
その他		0.5	0.6	0.6	事業の進捗に伴う経費の時点修正	
事業内容	バイパス事業 延長：351m 幅員：21m 車線数：2	同左	同左			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道は名古屋鉄道三河線（豊田方）と踏切にて交差しているが、連続立体交差事業に伴い現踏切部での通行ができなくなるため、現道機能を本路線に切替え、道路交通を確保する必要がある。 ・現道幅員が狭く歩道もほとんど設置されておらず、歩行者・自転車の安全確保が求められる。 <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前評価時から変化なし。 <p>【再々評価時の状況】</p>				

		<ul style="list-style-type: none"> ・再評価時から変化なし。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。 																																																																																																																																																																
	判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <p>名古屋鉄道三河線（豊田方）の連続立体交差事業により通行止めとなる現道の代替道路が必要であり、また歩行者・自転車の安全確保が必要であるため、事業の必要性が高い。</p>																																																																																																																																																																
② 事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2012</th> <th>2013</th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="3">4.6</td> <td colspan="3">9.6</td> <td colspan="3">0.6</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">4.6</td> <td colspan="3">7.5</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">4.6</td> <td colspan="3">7.5</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">1.2</td> <td colspan="3">1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0%</td> <td>0.35</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>14.2</td> <td>12.1</td> <td>85%</td> <td>14.8</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>2.3</td> <td>0.2</td> <td>9%</td> <td>2.9</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td> 用地補償費</td> <td>11.3</td> <td>11.3</td> <td>100%</td> <td>11.3</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>100%</td> <td>0.6</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率（面積ベース）は100%</p>		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	工種区分	調査・設計																	用地・補償																	工事																	事業費(億円)	前回計画	4.6			9.6			0.6									実績	4.6			7.5												今回計画	4.6			7.5						1.2			1.5				これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	0.00	0.00	0%	0.35	0%	事業費(億円)	14.2	12.1	85%	14.8	82%	工事費	2.3	0.2	9%	2.9	7%	用地補償費	11.3	11.3	100%	11.3	100%	その他	0.6	0.6	100%	0.6	100%
		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																																																																																
	工種区分	調査・設計																																																																																																																																																																
用地・補償																																																																																																																																																																		
工事																																																																																																																																																																		
事業費(億円)	前回計画	4.6			9.6			0.6																																																																																																																																																										
	実績	4.6			7.5																																																																																																																																																													
	今回計画	4.6			7.5						1.2			1.5																																																																																																																																																				
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																														
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																																																													
延長(km)	0.00	0.00	0%	0.35	0%																																																																																																																																																													
事業費(億円)	14.2	12.1	85%	14.8	82%																																																																																																																																																													
工事費	2.3	0.2	9%	2.9	7%																																																																																																																																																													
用地補償費	11.3	11.3	100%	11.3	100%																																																																																																																																																													
その他	0.6	0.6	100%	0.6	100%																																																																																																																																																													
	2) 未着手又は長期化の理由	<p>本路線の整備と密接に関連する知立駅付近連続立体交差事業の事業期間が延長される予定であり、連続立体交差事業による仮線撤去後でなければ完成形での整備ができない本路線も事業期間の延長が必要となった。</p>																																																																																																																																																																
	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>本路線と交差する名古屋鉄道三河線（豊田方）の連続立体交差事業を実施しており、鉄道を高架化するために本整備区間の一部を一時仮線として使用する必要があるため、また鉄道が高架化され仮線踏切が除却されるまで完成形での整備を行うことができない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>用地取得は完了しており、知立駅付近連続立体交差事業と合わせて、2028年度に完了する見込みである。</p>																																																																																																																																																																
	判定	<p>B</p> <p>A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続立体交差事業の完了と合わせての事業完了となるため長期化するが、2028年度に事業が完了する見込みである。 																																																																																																																																																																

Ⅲ 対応方針（案）

継続

中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。
継続：上記以外のもの。

Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

- ・周辺道路における交通状況の変化（交通量、旅行速度）を定量的に評価する。
- ・事業区間における交通事故発生状況（事故件数等）を定量的に評価する。